

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 6月  
剰余金の配当基準日 期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
単元株式数 1,000株  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載)  
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### 【ご注意】

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

なお、特別口座にて管理させていただいております株主様には、平成21年2月に「特別口座開設のご案内」をお送りしており、そのご案内の中のご注意事項で使用文字の制限についてご案内しております。

## ホームページのご紹介

当社は、会社の内容、決算の情報、ニュースリリースおよび公告など各種情報を掲載しております。

インターネットホームページアドレス

<http://www.mamiya-op.co.jp/>

**Mamiya-OP Co.,Ltd.** マミヤ・オーピー株式会社  
埼玉県さいたま市南区根岸三丁目23番10号

The logo for 'eyes' is written in a large, blue, 3D-style font with a slight shadow effect. The background of the entire page is a close-up photograph of green leaves with water droplets, creating a fresh and natural atmosphere.

第**67**期 年次報告書

2008.4.1 ▶ 2009.3.31

Business Report 2009

**Mamiya-OP**

マミヤ・オーピー株式会社

経営理念

「ものづくりを通し、信頼性の高い技術と品質をお客様に提供し、豊かな未来を拓いていく」

経営方針

- 1 利益ある成長 ..... 企業活動の源泉である健全なる利益を追求した経営を実行します。
- 2 徹底したお客様志向による信頼性の確保 ..... お客様の目線で「ものづくり」を行い、お客様の満足と信頼を得られる経営を実行します。
- 3 独自分野に果敢に挑戦する開拓精神 ..... 失敗を恐れずに、時代を一步リードする独自分野に挑戦する経営を実行します。
- 4 法令等を遵守し、公正かつ良識ある企業活動 ..... すべての役職員が法令等を遵守し、公正誠実な企業活動をとることにより、お客様や社会から信頼され共感を得られる経営を実行します。

行動指針：MI-5 (エムアイファイブ) Mission Improve

5つの使命を掲げ、常に進歩(Improvement)を続け社会に貢献する企業を目指してまいります。



- 1 Mannerism (マンネリズム) の排除 = 前例主義、現状維持は後退を意味します。常に問題意識を持ち、型にはまった手法を排除し、自由な発想で仕事に取り組みます。
- 2 Motivation (モチベーション) の向上 = 意欲なくして進歩はありません。常に高い向上心を持ち、積極的に会社構築に参画します。
- 3 Moral (モラル) の維持 = 自由を尊重しつつ、組織人・一般社会人に求められる社会規範を守り、秩序ある行動をとります。
- 4 Market (マーケット) 志向 = お客様目線の発想を徹底し、世の中の動きに敏感に反応する行動をとります。
- 5 Make a profit (プロフィット) = 健全なる利益を追求し、結果の出せる行動をとります。

真の改革に取り組むべく、全社員が一丸となり邁進します。

株主の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より当社事業に格別のご理解とご支援を賜りまして、心より御礼申し上げます。

第67期年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

私、矢崎 登は、平成21年6月26日開催の定時株主総会において取締役役に選任され、その後の取締役会におきまして、代表取締役社長に指名され就任いたしましたことをご報告いたします。

さて、当期におけるわが国経済は、米国発のサブプライムローン問題に端を発する金融危機が世界的規模で波及し、未曾有の景気後退が鮮明となり、株価の暴落、輸出産業の生産調整および雇用不安等、厳しい企業環境の中で推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、主力である電子機器事業部門におきましては、パチンコ台間玉貸機ユニットにおける価格競争とシェア争奪が激化する中、納期短縮に努め、また昨年は紙幣搬送システム事業に進出するなどの積極的販売展開により売上高は増加しましたが、紙幣搬送システム事業の当社への取り込み費用が高み、利益が減少いたしました。

スポーツ事業部門におきましては、主要市場であります米国において新製品の投入を図り、バングラデシュ工場において、高付加価値製品の多品種少量生産の効率アップを図るためのセル生産も軌道に乗り、成果を上げることができました。しかし、米国の金融不安による急激な景気後退に伴い、業績低下を免れることができませんでした。

今後、私に課せられました使命は、事業の再生と拡充でございます。

グループ会社の更なる生産効率の向上と販売力の強化に努め、全社員が一丸となり、利益体質会社へと邁進したいと存じております。

株主の皆様には、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

マミヤ・オーピー株式会社

代表取締役社長

矢崎 登





## 電子機器事業部門

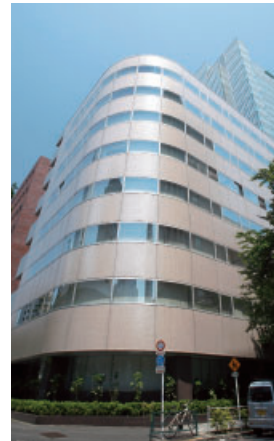
## 社会に大きく貢献するエレクトロニクス技術

私たちは、急速で激しい技術革新と多様化するお客様のニーズ、そして流動的な経済情勢への柔軟かつ果敢な対応が求められる今日の市場環境において、確かな技術とお客様のニーズをマッチングさせた、高品質で信頼性の高い製品をご提供することを第一に考え、事業活動を展開しております。これまで、新たな技術の開発・導入による新製品開発に積極的に取り組み、台間玉貸機などのパチンコ周辺機器及びアミューズメント関連機器、さらには小型券売機や薄膜厚計などの製品で社会に大きく貢献してまいりました。また、厳しさを増す一方の価格競争に対応

するため、生産方式の改善などによる生産性向上への粘り強い取り組みを中心とした一層のコストダウンを図るとともに、品質管理の徹底によりお客様のご信頼におこたえいたします。

また私たちは、平成20年4月1日付で、三洋電機株式会社の搬送システム事業を会社分割により承継したマミヤ・オーピー・ネクオス株式会社の全株式を譲り受け、紙幣搬送システム、紙幣識別装置及び硬貨・メダル貸機などの開発・製造・販売事業に進出いたしました。

さらに、本年4月1日には、遊技場向けシステム関連事業を主力とするエフ・エス株式会社を完全子会社にすることにより、遊技場向けパチンコ台間玉貸機ユニット及び周辺機器・設備等への事業拡大を図ります。



■ 本社 社屋



開発・研究スタッフ



カードユニット(メダル貸機・台間玉貸機)



Operal 高性能小型券売機



マルチチャンネル型 薄膜厚計



■ 岩槻事業所 社屋



熟練工によるセル生産



調整・検査ライン



紙幣搬送システムの生産

## スポーツ事業部門

## 世界のトッププロが認めたPROFORCEシャフト革命

私たちは、昭和48年に国産初のカーボンシャフトを発売して以来、ゴルファーの夢である「より遠くへ、より正確に」を実現するため、弛まぬ努力を重ね研究開発に注力することで、次々と先進のシャフトを世に送り出してまいりました。そして、世界初の4軸織物を搭載した「AXIV」は、その斬新さと高い性能ゆえに、トッププロをはじめとする多くのゴルファーから大きな支持をいただくことができました。また最近では、アパレルデザイナーとのコラボレーションにより、これまでにない高いデザイン性を誇るレディースシャフトを発売し、ファッション・コンシャスなゴルファーの話題を独占いたしました。

そして米国市場におきましては、平成3年にUST(ユナイテッドスポーツテクノロジー・LP.)を設立して以来、「PROFORCE GOLD」による日本のシャフトメーカーとして初めてのマスターズ制覇(平成11年)などを背景として、数多くのヒット商品を生み出し、最近では、「PROFORCE V2」及び「PROFORCE AXIV-CORE」が、スチュワート・シンク、デービス・ラブⅢ、ロッド・パンプリングをはじめとする契約トッププロの活躍もあり、日米のツアープロの人達にも浸透いたしました。

新年度につきましても、このような実績を踏まえ、マミヤ・オーピーとUSTの連携をさらに強化すべく平成21年2月にスポーツ事業本部を「UST Mamiya事業本部」とし、グローバルブランドとしての「UST Mamiya」の下での新たな事業体制により、ゴルファーの夢の実現と市場の発展に貢献してまいります。

また、海外生産拠点であるバングラデシュ工場(MOPB)では、平成元年のスタート時点から培った高度な生産技術により、シャフトの安定生産はもとより、品質面の管理強化、生産の効率化、またUST中国工場との連携強化などをさらに進め、お客様の要望に的確に対応できる工場運営を行ってまいります。バングラデシュ工場においてはさらに、精密部品の生産・加工及び組み立てなども積極的に行い、精密機械加工技術を生かした新規ビジネスの開拓にも取り組んでまいります。

このように、私たちは新年度も、ワールドワイドな視点から事業に取り組み、日本、米国そしてバングラデシュにまたがるグループの総力を挙げて、収益性と信頼性の高い製品の供給に努めてまいります。



■ 戸田事業所 社屋



PROFORCE V2



ユナイテッドスポーツテクノロジー・LP.



マミヤ・オーピー(バングラデシュ)Ltd.

当連結会計年度におけるわが国経済は、当初こそ企業・家計部門共に回復の兆しが見られたものの、米国発の金融危機が国際的に波及したことによる世界的な規模での景気後退が鮮明となり、輸出・生産そして企業収益の大幅な減少、設備投資水準の低下、株価低迷、急激な円高、不安心理による消費マインド悪化等、経済情勢の先行きへの不透明感が急速に広がり支配的となる中で推移しました。

こうした経済環境において、当社グループは、主力である電子機器事業を巡る依然として厳しい環境に加え、米国を主要市場とするスポーツ事業の業績が急落する中でも、企画・開発・製造・販売等、事業活動におけるすべての局面におけるグループを挙げての企業努力を重ね、平成20年4月1日付で三洋電機株式会社の紙幣搬送システム等事業を買収し、さらに、一年後の平成21年4月1日には、遊技場向けシステム関連事業を主力とするエフ・エス株式会社を完全子会社とするなど、積極的な事業展開を図ってまいりました。

電子機器事業セグメントは、主力であるパチンコ台間玉貸機ユニットにおける価格競争とシェア争奪が引き続き激化する中、強い納期短縮ニーズへの迅速な対応、三洋電機株式会社より買収した紙幣搬送システム、パチンコ設備関連機器等の積極的展開等による販売でこ入れを図り、これに人気パチンコ台の市場投入による波及効果があいまって、厳しい事業環境が続く中で売上は増加いたしました。しかし一方で、当該買収事業の引継ぎ費用が高んだため、利益水準については下落することとなりました。この結果、当事業セグメントの売上高は114億48百万円（前期比30.4%増）となりました。

スポーツ事業セグメントは、米国における「ProforceV2」シリーズの販売が引き続き好調であり、同時にAXIV4軸織物テクノロジーを採用した新製品「Proforce AXIV-CORE」が好評を博し、日米のツアープロにも浸透いたしました。また、Bangladesh工場において、高付加価値製品の多品種少量生産に対するセル生産の一部導入が軌道に乗り、一定の成果を上げることができました。しかし一方で、OEM製品の販売が前期に比べて落ち込み、カタログ商品についても、「AXIV」シリーズが、高付加価値の「プレミアムライン」を追加したものの、苦戦いたしました。これは、受注競争及び値引き要求の激化に加え、主要市場である米国の景気後退が予想以上に急激であり、市場環境の悪化による業績低下を免れることができなかったことによるものです。この結果、当事業セグメントの売上高は32億66百万円（前期比7.3%減）となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は147億14百万円（前期比19.6%増）、経常利益は3億7百万円（前期比69.0%減）となりました。さらに、特別利益として、貸倒引当戻入利益2億11百万円、特別損失として、固定資産売却却損13百万円を計上した結果、当期純利益は4億22百万円（前期比61.7%減）となりました。

次期の見通しは次のとおりでございます。

まず、電子機器事業セグメントにつきましては、先述の人氣パチンコ台からの波及効果等、若干明るい兆しも見受けられるものの、この間の業績下落の大きな要因であるパチスロ規制強化の影響等によるパチンコ遊技人口の減少すなわち市場の縮小、それに伴うパチンコホール淘汰及び設備投資意欲の減退などの厳しい事業環境が、当面の間、続くものと判断しております。このような状況を踏まえ当社グループといたしましては、昨年11月25日付で企画・開発・製造・販売を一体化してスタートいたしました電子機器事業本部の下で、パチンコ設備関連ユニットの販路拡大、新型搬送システムの開発、コスト低減のさらなる推進、平成21年4月1日付で買収いたしましたエフ・エス株式会社とのシナジー効果の発揮、等々の様々な方策を講じ、お客様のニーズを迅速かつ的確に把握し、高品質な製品をタイムリーに供給させていただくことにより、事業領域並びに業容の拡大と、持続的な成長の実現を図ってまいります。

また、スポーツ事業セグメントにつきましては、世界的な景気低迷の中で当面は買い控えが続くものの、下期からは在庫整理も進み、消費マインドも上向くものと判断しています。このような認識の下で、当社グループは企画・開発・製造・販売等、事業活動におけるすべての局面において、当社スポーツ事業部門と海外連結子会社との連携をこれまで以上に緊密なものとし、当社グループにおける経営資源を充実強化するとともに、その配分と役割分担を最適化することによって最大のパフォーマンスを上げ、これらの課題をクリアしていくべく、平成21年2月27日付で、スポーツ事業本部を「UST Mamiya事業本部」とし、グローバルブランドとしての「UST Mamiya」の下での新たな事業体制をスタートいたしました。

「UST Mamiya」ブランドの新製品シャフト「ATTAS」を、平成21年9月を目標として世界市場に投入し、国内外の市場におけるエンドユーザーへの訴求とブランド認知の向上を図り、その下で幅広い顧客ニーズに即した製品の開発・販売に全力を尽くすことで、売上と利益の増大を実現します。また、OEM販売において既存顧客への拡販に加え新規顧客の獲得に努めると共に、カタログ商品については、新たにラインアップした「AXIV プレミアムライン」「Proforce AXIV-CORE」等の、高品質、高価格帯モデルを拡販し、また、Bangladesh工場の生産性向上に努める等、グループの経営資源を最大限に活用し、高品質・高付加価値の製品を供給することによって、日米両市場を中心に、ツアープロを始めとする顧客層へのさらなる浸透を図ります。

以上の結果、次期の連結売上高は138億円（前期比6.2%減）、連結経常利益8億30百万円（前期比169.9%増）、連結当期純利益7億30百万円（前期比73.0%増）を見込んでおります。

連結財務情報

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

科 目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
● 資産の部		
流動資産	10,044	8,904
現金及び預金	3,306	4,557
受取手形及び売掛金	4,640	2,437
有価証券	12	12
たな卸資産	1,997	1,750
その他	118	156
貸倒引当金	△ 31	△ 10
固定資産	1,967	1,035
有形固定資産	447	625
建物及び構築物	208	322
機械装置及び運搬具	133	190
工具・器具・備品	73	106
土地	1	3
建設仮勘定	30	2
無形固定資産	182	7
投資その他の資産	1,337	402
投資有価証券	954	22
長期貸付金	379	594
その他	624	609
貸倒引当金	△ 621	△ 824
資産合計	12,012	9,939

連結貸借対照表注記事項	(当 期)	(前 期)
1. 有形固定資産の減価償却累計額	1,671百万円	2,491百万円
2. 自己株式の数	195,423株	167,558株

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
● 負債の部		
流動負債	4,653	2,769
固定負債	1,597	1,545
負債合計	6,251	4,315
● 純資産の部		
株主資本	5,669	5,248
資本金	3,958	3,958
利益剰余金	1,741	1,319
自己株式	△ 30	△ 29
評価・換算差額等	91	374
その他有価証券評価差額金	△ 5	—
為替換算調整勘定	96	374
純資産合計	5,761	5,623
負債及び純資産合計	12,012	9,939

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年4月 1日から 平成21年3月31日まで	平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで
売上高	14,714	12,304
売上原価	11,413	8,845
販売費及び一般管理費	2,693	2,280
営業利益	606	1,179
営業外収益	90	102
営業外費用	389	290
経常利益	307	991
特別利益	211	300
特別損失	15	40
税金等調整前当期純利益	503	1,251
法人税、住民税及び事業税	81	150
当期純利益	422	1,101

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年4月 1日から 平成21年3月31日まで	平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	416	747
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,836	524
財務活動によるキャッシュ・フロー	187	△ 674
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 54	△ 6
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,288	590
現金及び現金同等物の期首残高	4,517	3,926
現金及び現金同等物の期末残高	3,229	4,517

連結株主資本等変動計算書

当期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等				純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日 残高	3,958	1,319	△ 29	5,248	0	374	374	5,623	
連結会計年度中の変動額									
当期純利益		422		422			0	422	
自己株式の取得			△ 1	△ 1			0	△ 1	
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)				0	△ 5	△ 277	△ 283	△ 283	
連結会計年度中の変動額合計	0	422	△ 1	420	△ 5	△ 277	△ 283	137	
平成21年3月31日 残高	3,958	1,741	△ 30	5,669	△ 5	96	91	5,761	

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
● 資産の部		
流動資産	7,924	7,255
現金及び預金	2,586	4,547
受取手形	263	68
売掛金	4,034	1,915
有価証券	12	12
たな卸資産	829	435
前払費用	44	44
未収入金	167	240
その他	0	0
貸倒引当金	△ 14	△ 8
固定資産	2,967	995
有形固定資産	186	196
建物	81	74
機械装置	24	33
工具・器具・備品	48	81
土地	1	3
その他	31	4
無形固定資産	4	6
電話加入権	1	1
ソフトウェア	2	5
投資その他の資産	2,776	791
投資有価証券	954	22
関係会社株式	1,456	469
長期貸付金	379	594
長期前払費用	7	4
長期延滞債権	1,393	1,445
その他	589	582
貸倒引当金	△ 2,003	△ 2,327
資産合計	10,892	8,250

貸借対照表注記事項

- 有形固定資産の減価償却累計額
- 自己株式の数

(当 期)

493百万円  
195,423株

(前 期)

425百万円  
167,558株

科 目	当 期	前 期
	平成21年3月31日現在	平成20年3月31日現在
● 負債の部		
流動負債	4,554	2,735
固定負債	1,597	1,545
負債合計	6,152	4,281
● 純資産の部		
株主資本	4,745	3,969
資本金	3,958	3,958
利益剰余金	817	39
自己株式	△ 30	△ 29
評価・換算差額等	△ 5	—
純資産合計	4,740	3,969
負債及び純資産合計	10,892	8,250



## 個別財務情報

Non-Consolidated Financial Statements

### 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年4月 1日から 平成21年3月31日まで	平成19年4月 1日から 平成20年3月31日まで
売上高	11,937	9,390
売上原価	9,522	7,261
売上総利益	2,414	2,128
販売費及び一般管理費	1,969	1,442
営業利益	445	685
営業外収益	190	272
営業外費用	162	188
経常利益	473	769
特別利益	324	414
特別損失	14	40
税引前当期純利益	783	1,143
法人税、住民税及び事業税	6	3
当期純利益	777	1,139

損益計算書の注記事項	(当 期)	(前 期)
1株当たり当期純利益	8円33銭	12円21銭

### 株主資本等変動計算書

当期(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等				純資産合計
	資本金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計			評価・換算 差額等合計			
平成20年3月31日 残高	3,958	39	39	△ 29	3,969	0	0	3,969	
事業年度中の変動額									
当期純利益		777	777		777		0	777	
自己株式の取得				△ 1	△ 1		0	△ 1	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)					0	△ 5	△ 5	△ 5	
事業年度中の変動額合計	0	777	777	△ 1	775	△ 5	△ 5	770	
平成21年3月31日 残高	3,958	817	817	△ 30	4,745	△ 5	△ 5	4,740	

## 株式情報

平成21年3月31日現在

株式の状況	発行可能株式総数	150,000,000株
	発行済株式の総数	93,481,700株
	株主総数	8,080名

### 大株主

株 主 名	株式数(株)	持比率(%)
株式会社データ・アート	54,545,000	58.34
みずほ信託銀行株式会社	885,000	0.94
東京海上日動火災保険株式会社	846,204	0.90
原 幸 一 郎	774,220	0.82
エヌティーシーアカウンティングサービス株式会社	701,000	0.74
日本証券金融株式会社	394,000	0.42
株式会社東京都民銀行	390,000	0.41
王 厚 龍	340,000	0.36
安藤証券株式会社	300,000	0.32
道 中 義 治	272,000	0.29

### 所有者別分布状況

外国法人等	18名	0.63%
証券会社	17名	0.71%
金融機関	9名	2.76%
その他の国内法人	162名	61.61%
個人・その他	7,874名	34.27%

※「個人その他」は、自己名義株式195,423株含む(1名扱い)

### 所有株式数別分布状況

1千株未満	2,128名	0.61%
1万株未満	5,138名	12.62%
10万株未満	773名	17.87%
100万株未満	40名	10.53%
100万株以上	1名	58.34%

※自己名義株式は100万株未満(1名扱い)

## 会社概要

平成21年6月26日現在

商号	マミヤ・オーピー株式会社
本店所在地	埼玉県さいたま市南区根岸三丁目23番10号 ※平成21年7月1日下記に変更登記予定 東京都品川区西五反田二丁目11番17号
設立	1948(昭和23)年2月
資本金	39億58百万円
従業員	112名

### 役員

代表取締役社長	矢崎 登	取締役	峰島 重雄
取締役副社長	島田 和長	取締役	磯部 圭一
常務取締役	山本 和孝	常務取締役	志田 太利夫
取締役	鈴木 登	監査役	関口 正夫
取締役	鈴木 聡	監査役	渡邊 光治
取締役	菅原 正巳		

### グループ会社

ユナイテッドスポーツテクノロジー・ホールディングスInc. (米国・デラウェア州)
ユナイテッドスポーツテクノロジー・LP.(米国・テキサス州)
マミヤ・オーピー(バン格拉デシュ)Ltd.(バン格拉デシュ・チッタゴン市)
マミヤ・オーピー・ネコス株式会社(埼玉県さいたま市)
エフ・エス株式会社(東京都品川区)

### 事業所および事業内容

本 社	〒336-0024 埼玉県さいたま市南区根岸三丁目23番10号 ※平成21年7月1日より下記に移転予定 〒141-0031 東京都品川区西五反田二丁目11番17号 HI五反田ビル 管理部 Tel 03-5437-2311 Fax 03-5437-2363 営業部 Tel 03-5437-2573 Fax 03-5437-2472 ・本社(経営推進室、監査室、管理部) ・電子機器事業本部(営業部) パチンコ台間玉貸機、搬送システム、小型券売機などの企画・販売
岩槻事業所	〒377-0004 埼玉県さいたま市見沼区卸町二丁目6番21号 Tel 048-680-5201 Fax 048-680-5203 ・電子機器事業本部(生産部・品質保証部) パチンコ台間玉貸機、搬送システム、小型券売機などの製造及び品質保証
戸田事業所	〒335-0031 埼玉県戸田市美女木三丁目5番1号 Tel 048-449-6699 Fax 048-449-6711 ・UST Mamiya事業本部 ゴルフシャフト・ゴルフ関連用品及び遮断桿の開発・販売
五反田開発部	〒141-0031 東京都品川区西五反田一丁目23番9号 りそな五反田ビル ・電子機器事業本部(開発部、事業開発室) パチンコ台間玉貸機、搬送システム、小型券売機などの開発 ※平成21年7月開所予定